

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・特別支援教育や教育相談を充実させ、「見守りたい子」について組織的に対応する体制を整えてきたことにより一定の成果は見られたが、全体指標である「自分にはよいところがあると思う」は74.7%、「先生はあなたのよいところをほめてくれる」は78.5%と目標には達しなかった。また、感情をコントロールできず、落ち着かない児童が多いこと、学力面では上位と下位の差が大きく、基本的な知識・理解の定着や思考力、判断力には個人差があることが課題である。児童の「自己有用感」を高めるために、一人一人が安心して生活できる集団づくり、豊かな心を育む教育、生徒指導の三機能を生かした授業づくりを推進していくことが必要である。
------------------	---

2 学校教育目標	自らを友達を大切に思い、未来に向けて花開こうとする桜つ子の育成 — 日々の積み重ねを大切に作る学校づくり —
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>「ひとつ・ひとつずつ」を合い言葉に、一人一人の教職員が、学校教育目標の実現に向けての意識を高く持ち、子供の「自己有用感」を高める取組を推進する。</p> <p>◆全体指標「自分には、よいところがあると思う」80%以上、先生はあなたのよいところをほめてくれる85%以上)</p> <p>① 教職員の協働意識・体制の向上……○学校目標と一貫性のある学年目標の設定 ○学年の協働・連動性、校内の報告・連絡・相談 ○学習規律の徹底 ○ICTを活用した授業実践の蓄積</p> <p>② 自己実現を図るための生徒指導の三機能を意識した実践……○決めさせ、考えさせ、認め合う授業の実践 ○「出番」「役割」があり、「承認」される授業・活動の創造</p> <p>③ 子どもの困り感に寄り添う支援、やさしい子を育む指導の充実……○特別支援教育に関する職員の知識の向上 ○教育相談体制の構築 ○人権・同和教育、いのちの学習等心育てる教育の充実 ○地域人材の活用</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	主な担当者		
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果			評価	意見や提言

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	主な担当者		
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果			評価	意見や提言

5 総合評価・次年度への展望	<p>◆今年度の新たな取組である「いのちの授業」の実践をはじめ、人権教育、特別支援教育、教育相談など、豊かな心を育む取組や一人ひとりの困り感に寄り添う支援を強化・充実させたことにより児童の自己有用感等は徐々に高まりつつある。また、1人1台端末を活用した授業づくりや生徒指導面の課題についても学年間で情報共有し、チーム対応、共通実践が進み、成果が見られた。全体指標の項目1「自分には、よいところがあると思う」は78.0%、項目2「先生はあなたのよいところをほめてくれる」は80.4%であった。昨年度に比べ向上しているが、項目1は到達目標80%に届かなかったため、引き続き実践を積み重ねていく。</p>
----------------	---